

ドローン「飛んだよ」

幅広い分野で活用が進む無人機(ドローン)の体験イベントが10日、神戸町瀬古の下宮小学校であり、全校児童110人がプログラミングや操縦を体験、産業用のデモ機の実演も見学し、最先端の技術に触れた。

(宮本寛)

◎ ◎

本年度の同校創立150周年記念行事の一環。学校や地域の各種団体、卒業生らでつくる記念行事の実行委員会が、児童に未来を感じて夢を膨らませてほしいと開き、美濃市でドローンミュージアムを運営するロボッツ(恵那市上矢作町)が講師を務めた。

児童は順番にドローンを操縦したり、同社員が実演するレース機の「視界」をモニター越しに体験したりした。また、離れた場所へ行っている自動飛行のプログラミングにも挑戦し、緊張した表情で機体の動きを見守った。

産業機の実演もあり、農

下宮小児童がプログラミング体験

自動飛行、緊張の表情で見守る

薬散布用の機体で水をまいたのは初めてで、操縦はいたり、スピードカーで児童難しかった。ドローンはに話しかけたり、ボールを運んで落としたりした。ので将来が楽しみ」と話した。6年の馬淵湊君は「触った」。



自分たちでプログラミングしたドローンの飛行を見守る児童ら
＝神戸町瀬古、下宮小学校